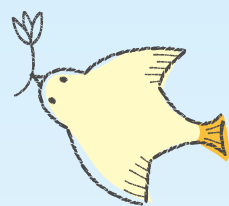


2019年度 第1回 援助会員養成講座

会 場：嬉野ふるさと会館（松阪市嬉野権現前町423-88）
 対 象：松阪市内及び近隣市町に在住する20歳以上の方
 募 集 人 数：30名（先着順）
 受 講 料：無料（但しテキスト代2,200円が必要となります）
 託 児：無料 必要な方は、2019年7月2日（火）までにお申し込みください。（お茶など飲み物をご持参ください）

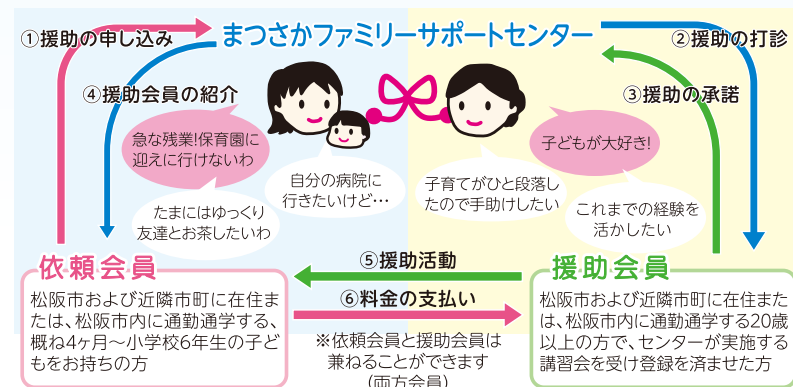


月 日	時 間	内 容	講 師
7月 9日(火)	10:00～10:10	オリエンテーション	まつさかファミリーサポートセンター アドバイザー
	10:10～12:10	①保育サポーターの役割と心得	(特)松阪子どもNPOセンター 理事長 塩谷 明美
	13:10～16:10	②子どもの栄養と食生活	元三重中京大学食物栄養学科 教授 馬場 啓子
7月11日(木)	10:20～12:20	③子どもの遊び	ユマニテック短期大学幼児保育学科 教授 山野 栄子
	13:20～13:50	④松阪市の子育て支援サービスの現状	松阪市健康福祉部こども局子ども支援課 こども担当主幹兼こども係長 松田 武己
	14:00～17:00	⑤子どもの発育と病気	イワサ小児科 理事長 岩佐 敏秋
7月12日(金)	10:00～13:00	⑥小児看護	(株)ジェネラス訪問看護ステーション ほたるいせ管理者 岡田 まり
	14:00～15:30	⑦乳児の暮らしとケア	松阪市嬉野地域振興局地域住民課 保健師 近田麻里子
	15:40～16:10	⑧事業を円滑にすすめるために	まつさかファミリーサポートセンター アドバイザー
7月18日(木)	9:30～12:30	⑨子どもの心の発達と障害について	高田短期大学子ども学科 教授 山口 昌澄
	13:30～15:30	⑩保育の心	子育て支援アドバイザー 堀川 美子
7月24日(水)	9:30～12:30	⑪子どもの事故と安全・幼児救急法	日本赤十字社三重県支部 富内 直美
	13:30～16:00	⑫講座を振り返って	まつさかファミリーサポートセンター アドバイザー

まつさかファミリーサポートセンターのしくみ

サポート内容

- 保育園や学校・学童保育への送迎および一時的な預かりなど
- 軽い病児、病後児および緊急時の預かりなど
- 宿泊預かり



利用するには...

- ① まずはお電話の上、当センターまでお越しください。入会申込書に必要事項を記入し、登録してください（登録は無料です）。
 - ② 依頼会員とその条件に合う援助会員（2～3名）が、お子さんを交えて事前の顔合わせをします。
- ※ ①②を済ませておけば、依頼をすることができ、いざというときにも安心です。
 ※ 援助活動中の万が一の事故に備え、補償保険に加入しています。

まつさかファミリーサポートセンター

〒515-0084 松阪市日野町788 カリヨンプラザ1階
 （特定非営利活動法人 松阪子どもNPOセンター内）

TEL/FAX 0598-20-8246
 E-mail mfsc@mknpo.jp
 ホームページ <http://www.mknpo.jp/mfsc/>
 開所時間 月曜～金曜 8:30～19:00
 駐車場は、カリヨンパーキングをご利用ください。

詳しくは
携帯で
アクセス!

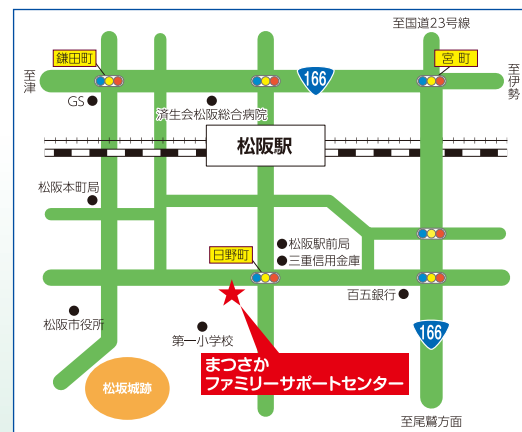


利用料金は...

	※1時間あたり	
	通 常	緊急・病児
平日7:00～19:00	700円	1,000円
平日の上記以外の時間 および土、日、祝日	800円	1,200円
年末年始(12/29～1/3)	1,000円	1,400円

宿泊の利用料金(1回あたり)

22:00～6:00(連続8時間)	5,000円
年末年始(12/29～1/3) 22:00～6:00(連続8時間)	7,000円



『あなたの子育て応援します』

2019年6月(第32号)

ファミサポ ホットタイム

発行元：まつさかファミリーサポートセンター

援助活動の様子

依頼会員の声

子どもが人見知りをするので、援助会員さんに対して人見知りをするのはと利用前は心配しておりました。
 しかし、ファミサポを利用する前、保護者同席で子どもと援助会員さんとの面談を設けて頂き安心できました。
 今では援助会員さんの家で自分の家のように楽しんで時間を過ごしています。
 援助会員さんのご家庭で時間を過ごすので社会勉強にもなり感謝しております。
 援助会員さんと子どもの関係も良く、共働きの我が家ではファミサポは大変ありがたい存在です。（依頼会員H.Y.）



援助会員の声

援助活動が始まったのは、平成29年4月からです。自分の気持ちをはっきり言えて感情豊かな小学3年生になるかわいらしい女の子です。学童にお迎えに行った時のマイペースな所は出会った時から変わりません(笑)
 私の自宅でお母さんのお迎えを待つ間、アイロンビーズを作ったり、飼っている亀にエサをあげたり、私の娘が自宅に居る時は3人で人生ゲームやツイスターで遊んだこともあります。今、2人で1番盛り上がる遊びは風船とうちわを使って部屋の中で真剣に戦う「風船テニス」です。
 決して広くないアパートの一室でいつも過ごしていますが、怪我だけは無い様に気を付けながら真剣に遊んでいます。ご家族がお迎えに来られるまでの短い時間ではありますが、彼女の成長を見守れる事は私にとって日々の楽しみになっています。（援助会員K.M.）

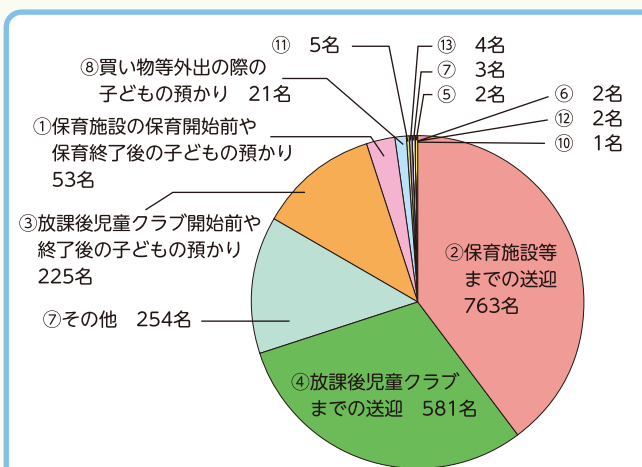


まつさかファミリーサポートセンターは（特）松阪子どもNPOセンターが松阪市より委託を受けて運営しています

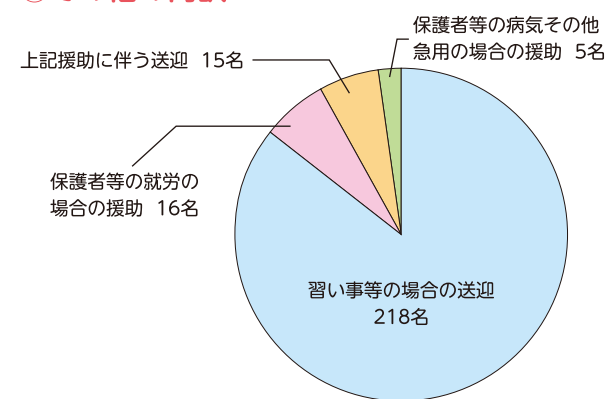
2018年度の活動報告

【援助活動一覧表】

活 動 内 容	今年度
①保育施設の保育開始前や保育終了後の子どもの預かり	53
②保育施設等までの送迎	763
③放課後児童クラブ開始前や終了後の子どもの預かり	225
④放課後児童クラブまでの送迎	581
⑤学校の始業前や放課後の子どもの預かり	2
⑥学校までの送迎	2
⑦冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際の子どもの預かり	3
⑧買い物等外出の際の子どもの預かり	21
⑨その他	
・習い事等の場合の送迎	218
・保育園・幼稚園・学校の休みの時の預かり	0
・妊娠・出産時の預かり	0
・上記援助に伴う送迎	15
・保護者等の就労の場合の援助	16
・保護者等の病気その他急用の場合の援助	5
⑩病児・病後児の預かり	1
⑪宿泊を伴う預かり	5
⑫その他（早朝・夜間等の緊急時の預かりなど）	2
⑬上記に伴う保育施設、病児・病後児施設、自宅等の間の送迎	4
合計活動件数	1916
キャンセル回数	284



⑨その他の内訳



今年度は活動件数が前年度より大幅に増え、1916件ありました。毎日利用される方、週単位で定期的にご利用される方、きょうだい2人の援助など1年をとおして頻度の高い利用者が見られました。内訳としては保育園への送迎と放課後児童クラブへの送迎が圧倒的に多く、全体の7割を占めています。それらのお迎え後の預かりが278件あり、園や学童の終了時刻と養育者の仕事の終業時刻の隙間のサポートを担っていることがわかります。

依頼会員の入会者は68人、マッチングは93回でした。月に1度、市内の健康センターや地区市民センターで開催される乳幼児健康相談に出向き、ファミリーサポート事業の広報を行いました。少しずつではありますが、ファミサポが認知されている感じがします。入会には健康センターや子育て支援センターから紹介を受けて来られる方も多く、またこちらからも関係機関に相談し、よりよい支援をめざしています。

ひとり親家庭、養育者が病気や障がいがあるなど、子どもを育てるうえで厳しい環境が見られる中、ファミサポの支援が求められています。依頼されてもその援助ができなくては意味がないので、援助会員確保が長年の課題です。ファミサポ立ち上げ当初の15年前よりも40～50代の就労者が増えたため、シニア世代の方や子育て中の方に、より働きかけて地域の中で子育てを支援する人々を増やしていきたいと思ひます。

依頼会員 395名

援助会員 233名

両方会員 45名

合 計 673名

援助会員養成講座

- 第1回：7/18(水)・19(木)・21(土)・22(日)・25(水)
参加者 新規19人 再受講9人
- 第2回：1/17(木)・20(日)・22(火)・25(金)
参加者 新規 8人 再受講6人

25.5時間の講座を年2回行いました。松阪市の広報を見て来てくださった方が多かったです。援助会員の勤めや、依頼会員で、上のお子さんの中学入学を機に、今度は援助会員として子育てを応援したいという方もありました。毎回乳幼児を持つお母さんの受講があり、「子育てについてしっかり学べ、託児もしてもらってよかった」と言われます。毎年嬉野・三雲地域で1回講座を開いています。松阪市ではこの地域が特に子どもが増加しているので、援助会員の拡大が必要です。



ステップアップ研修会

- 11月18日(日) 10:00～12:00
参加者 援助会員・両方会員 計13人

ステップアップ研修会では、活動中に起きたヒヤリハットや、どうしたらいいのかと困ったことなどを出し合いました。「こんなとき、どうする?」という事例が、各グループからいくつも出され、活発に意見交換ができました。参加者の皆さんから、他の方の援助の話が聞けたことが良かったと感想をもらいました。安心して安全な活動ができるように、“もしかしら”というリスクについて考え合う機会になりました。

交流会

- 参加者 20組の親子(依頼会員1人・両方会員3人・一般16名)
援助会員12人(内託児サポーター8人)

交流会では、講師にヨガ指導者YOGA SCHOOL Kuan Yin代表の小倉杉絵さんをお迎えして、前半は親子でヨガをして体を動かし、後半はティータイムをしながら子育てについておしゃべりをして参加者同士の交流を深める会となりました。日頃の育児で疲れた体を、ヨガを通してリフレッシュすることができました。また、ママたちがおしゃべりタイムを楽しんでいる間、子どもたちは援助会員さんと一緒に遊んで託児体験をすることができました。

会員ではない一般の方々の参加が多く、まつさかファミリーサポートセンターを知っていただく機会になりました。



防災について

東日本大震災が発生してから8年が経ちました。最近ではテレビの地震速報が多くなってきました。防災について、自分自身で考えていることはありますか?今すぐに起こってもおかしくない南海トラフ地震発生の地域でもあります。日々何ごともなく生活していますが、これを機会に援助中のことを想定していろいろ考えてみてください。

当センターも今後、災害について考え対策していきたいと思ひます。

援助活動をしている時
(依頼会員の子どもと一緒に)

- まず、ファミサポに電話する。繋がらない時は依頼会員に電話する。
- 緊急の電話はつながりますか?登録してありますか?

